



学校図書館だより

10月号

令和5年10月
柏市立光ヶ丘中学校
学校図書館

いわし雲おいなる瀬をさかのぼる 飯田蛇笏 (春蘭より)

10月になったとはいえ、衣替えに迷うような日が続いていますが、日が暮れるのが早くなり、朝晩は少し過ごしやすくなりました。今月は、読書週間が始まります。夢中になれそうな本を、学校図書館で探してください。お待ちしております。

秋の夜長に読みたい本があるという幸せ・・・



私のペースで
しおりは進む
2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



今月、27日から読書週間が始まります。1947年、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」という決意のもと、第1回読書週間が開催されました。公募により選ばれた今年のテーマは、「私のペースでしおりは進む」です。



おねがい



夏休みに借った本がまだ手元にある人はいませんか？

次の人が待っています。速やかに返却しましょう。

返却ボックスも利用できます。

図書館開館日 火・木・金 昼休み

※図書館指導員のいる日はほかの曜日でも開館しています。
図書館前に掲示してある開館カレンダーをチェックしてね。



2023年度 購入図書リクエスト用紙

記入者	年	組	氏名 ()
書名	『		』
著者名	『		』
出版社	『		』



- ★リクエストした本全てが購入されるわけではありません。
- ★リクエストした本が購入された場合は、リクエストした人が最初に借りることができます。
- ★用紙は図書館内のリクエストボックスに入れるか、図書委員に渡してください。

10/13 (金)

×切

《今月のおすすめ》 いろいろな秋にふさわしい、3つの作品を紹介します。どの作品も読みごたえ十分。虫の声を聴きながら、本の世界にひたってください。

スポーツの秋に

『武士道シックスティーン』

誉田 哲也 著 文藝春秋 (NDC 913)



青春を剣道にかける女子高校生の物語です。中学最後の大会で、無名だった早苗に敗れた剣道エリートの香織。同じ高校に進学した二人は、剣道部で再会することになります。敗北を忘れない香織とおっとりした早苗の掛け合いが楽しい3部作（セブنتィーン・エイティーンに続く）です。

読書の秋に

『読書からはじまる』

長田 弘 著 筑摩書房 (NDC 019)



『自分の心のなかに失いたくない言葉の蓄え
場所をつくりだすのが、読書です。』
(本文P213より)

最も長く、最も深く人類と共に在り続けてきた「本」というメディアは、私たちの想像よりもずっと優しく、あらゆることを許してくれる友人だ。ひとの世界への愛に溢れた珠玉の読書エッセイ。

芸術の秋に

『蜜蜂と遠雷』

恩田 陸 著 幻冬社 (NDC 913)



ピアノコンクールを舞台に、才能に恵まれた人 演奏環境に恵まれた人 ピアノへの思いをあきらめられない人 出場者たちそれぞれの心情を描きます。作品中で主人公たちが奏でるピアノ演奏を、文章で表現する場面をぜひ堪能してください。第156回直木賞も受賞しています。

食欲の秋に

『和菓子のアン』

坂木 司 著 光文社 (NDC 913)



デパ地下の和菓子屋で働く杏子。同僚やお客さんにふりまわされながらも、つづられていく心温まる毎日と、杏子の可愛らしい性格にほっこりします。和菓子のマメ知識も満載です。続編の『アンと青春』『アンと愛情』もあります。